

水田
来年に向けて

収穫後の圃場管理

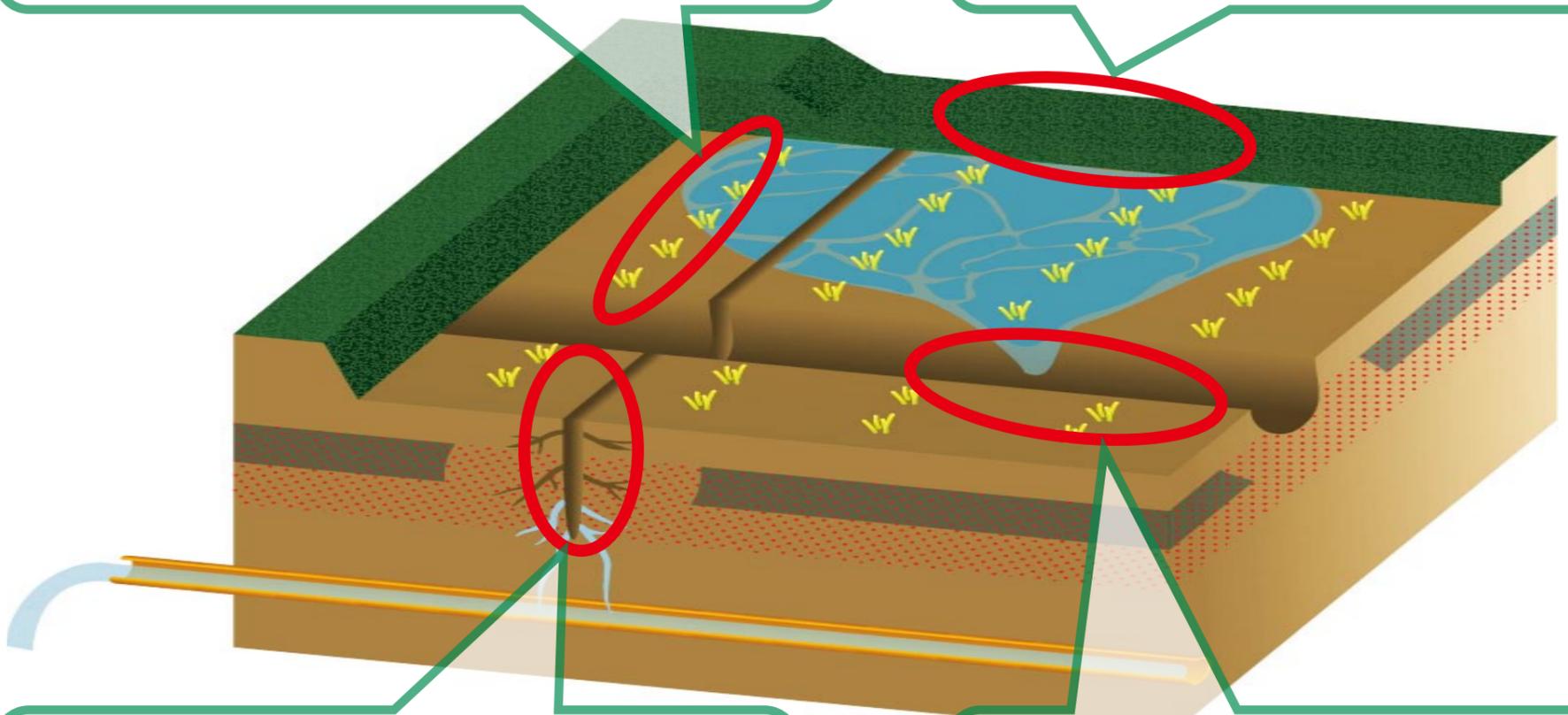
稲わらは焼かずに搬出しましょう。

生わら鋤込みの害

- ①酸素を消費して土を酸欠にします。
- ②窒素肥沃度を高めて蛋白を高めます。
- ③メタンの発生源、地球温暖化を加速。

「あぜ」を補修しましょう。

深水できる畦が少なくなっています。
冷害を軽減するには深水管理のできる「あぜ」が必要です。



心土破碎を入れましょう。

心土破碎の効果をより高めるためには、圃場が乾いている時期に、できるだけゆっくりと施行します。

溝切りを行いましょう。

圃場外への排水を促すには、水の出口を工夫します。

※心土破碎、溝切りなどの透排水性改善技術によって・・・

- ・落水期には圃場の乾燥が進み、土壌窒素の無機化が進み初期生育が向上する、春の耕起等作業が順調に進む、などの効果が期待できます。
- ・湛水期には減水深が向上し、地温が上昇する、ワキが減少する、ねらった時期に中干しが可能になる、などの効果が期待できます。

土壌診断を行い、施肥設計に活用しましょう。

水田土壌はリン酸、カリが蓄積傾向にあります。分析値にもよりますが、リン酸で最大 50%程度、カリで最大 30%程度の減肥が可能です。



ホームページでもご覧になれます ▶ <http://www.beibaku.net/>